



令和5年度

学 校 要 覧



校 歌

作詞 松井正八
作曲 中沢恒夫
編曲 宮崎謙一

朝日に映えて いや高き
子持の峰を 東に
西に浅間の 山はるか
仰ぐ瞳の 清く澄み
若き生命の 火と燃ゆる
高中 高中 我等が母校

古木の緑 いや深き
城跡いよよ 静まりぬ
三国の街道の 遠くして
偲ぶ歴史の 長き郷土
若き魂 栄えあれ
高中 高中 我等が母校

鮎おどる川 いや清き
盆地いろどる 黄金の穂
煙草の実り 豊かなり
学ぶ同胞 信義もて
若き心を 結びゆく
高中 高中 我等が母校

高山村立高山中学校

〒377-0702 群馬県吾妻郡高山村大字中山3750 番地1

TEL 0279-63-2002 FAX 0279-63-2950

E-mail takayama-jhs@takayama.ed.jp

URL <http://jhs.takayama.ed.jp/>

I 学校の概要

1 位置 2 沿革

北緯 36 度 37 分 37.606 秒 東経 138 度 56 分 38.847 秒 標高 552.14m

昭和 22 年 4 月 19 日	開校 高山村国民学校校舎を充当して開校式を行う
昭和 31 年 5 月 29 日	体育館新築
昭和 35 年 5 月 31 日	特別教室 4 教室新築
昭和 36 年 11 月 24 日	産業教室新築
昭和 43 年 4 月 26 日	県教育委員会より学力向上指定地区に指定される(43-44 年)
昭和 43 年 8 月 5 日	校庭拡張工事並びにプール建設工事竣工
昭和 45 年 4 月 9 日	村営給食センター竣工により給食調理室閉鎖
昭和 45 年 10 月 3 日	武道館新築
昭和 48 年 11 月 9 日	第 12 回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会第 9 分科会場として公開授業を行う
昭和 49 年 10 月 4 日	校庭に夜間照明施設完成(6 基 18 灯)
昭和 50 年 4 月	教育委員会より教育機器の研究を指定される(50-51 年度)
昭和 52 年 4 月	県教育委員会より同和教育推進校に指定される(52 年度)
昭和 54 年 11 月 21 日	新校舎新築落成式を行う・11 月 24 日 新校舎移転・授業開始
昭和 55 年 8 月 12 日	50m プール完成
昭和 56 年 4 月 5 日	新体育館(武道館)新築落成式を行う・4 月 文部省指定格技推進校(56-58 年度)
昭和 57 年 8 月	体育教官室兼女子陸上部部室設置
昭和 59 年 4 月	第三次学力向上対策地区指定(59-60 年度)・11 月 全国保健体育優良校全国表彰を受ける
昭和 60 年 8 月	屋外便所新築
昭和 61 年 10 月	県道徳教育実践講座会場校として道徳の公開授業を行う
昭和 62 年 8 月	NHK ラジオ体操会場となる
昭和 63 年 7 月	屋根の補修工事
平成 元年 7 月	女子バレーボール・バスケットボール部部室設置・村制施行百周年記念諸行事参加
平成 2 年 4 月	県教育委員会より学校安全教育実践推進校に指定される(2-3 年度)
平成 3 年 11 月	コンピュータ室設置・11 月 6 日 学校安全教育実践推進校の発表会
平成 4 年 8 月	集いの広場改修工事
平成 5 年 10 月 22 日	第 32 回関東甲信越地区技術・家庭科研究大会第 2 分科会場として公開授業を行う
平成 6 年 6 月 17 日	プール全面塗装
平成 7 年 3 月	校庭全面改修工事(グリーンダスト)
平成 7 年 4 月	文部省より同和教育研究校に指定される(7-8 年度)
平成 8 年 10 月 18 日	文部省同和教育研究指定校の発表会を行う
平成 8 年 12 月 17 日	優良 P T A 県教育委員会表彰(団体)を受ける
平成 9 年 2 月 19 日	第 33 回全国花いっぱいコンクール(優良賞)を受ける
平成 10 年 4 月	県社会福祉協議会より福祉協力校の指定を受ける
平成 12 年 4 月	ボランティア等実践研究指定
平成 13 年 4 月	地域人材を活用した授業実践
平成 15 年 4 月	文部科学省指定学力向上フロンティアスクール
平成 15 年 9 月	屋外便所改築
平成 16 年 11 月 19 日	文部科学省指定学力向上フロンティアスクール発表会
平成 17 年 4 月	評価の信頼性・客観性の確立に関する調査研究委託事業
平成 18 年 8 月	校舎内給水管改修工事
平成 19 年 7 月	木工・金工室改修工事
平成 20 年 11 月	第 1 回群馬銀行環境県教育賞(奨励賞)を受ける
平成 21 年 10 月	第 2 回群馬銀行環境県教育賞(特別賞)を受ける
平成 22 年 2 月	武道館耐震化工事
平成 22 年 8 月	北校舎、体育館、武道館の耐震化工事
平成 22 年 10 月	特色ある教育活動により群馬県教育委員会より表彰
平成 23 年 10 月	プール解体工事
平成 24 年 2 月	特色ある教育活動により日教弘教育賞(奨励賞)受賞
平成 25 年 4 月	文部科学省より「道徳教育総合支援事業の実践推進校」の指定を受ける(25-26 年度)
平成 26 年 11 月 14 日	文部省委託事業 道徳教育総合支援事業の研究発表会を行う
平成 27 年 1 月 16 日	優良 P T A 県教育委員会表彰(団体)を受ける
平成 27 年 1 月 20 日	駐輪場屋根に教育用太陽光発電設備を設置
平成 27 年 4 月 10 日	オーストラリアよりトーマス・ハッサール校生徒(16 名)が初来校、交流行事を実施
平成 27 年 11 月 2 日	道徳教育への取組により日教弘教育賞(奨励賞)受賞
平成 28 年 10 月 14 日	群馬県教育委員会委託 人権教育研究指定校事業の地区別人権教育研究協議会を行う
平成 29 年 4 月 13 日	オーストラリアよりトーマス・ハッサール校生徒(14 名)が来校、交流行事を実施
平成 29 年 10 月	道徳教育への取組により日教弘教育賞(奨励賞)受賞
平成 30 年 4 月	群馬県教育委員会より「英語 4 技能スキルアップ事業」実践校の指定を受ける(3 ヶ年)
平成 30 年 11 月	第 67 回群馬県へき地教育研究大会を行う。
平成 31 年 4 月	文部科学省より「英語教育改善プラン推進事業」研修協力校の指定を受ける(1 ヶ年)
平成 31 年 4 月 19 日	オーストラリアよりトーマス・ハッサール校生徒(10 名)が来校、交流行事を実施
令和 元年 5 月 1 日	『令和』に改元する *普通学級 4 クラスのエアコン設置
令和 2 年 11 月	英語 4 技能スキルアップ事業」の発表を行う(Web による動画公開)
令和 3 年 4 月	群馬県教育委員会より「ICT 活用促進プロジェクト」実践校の指定を受ける(1 ヶ年)
令和 4 年 4 月	ICT 活用促進プロジェクト」実践校の指定を継続する(1 ヶ年)
令和 5 年 4 月	オーストラリアよりトーマス・ハッサール校生徒(37 名)が来校、交流行事を実施

高山村中学生海外派遣事業 (8 月実施)

平成 12 年	第 1 回(3 年生)
平成 13 年	第 2 回(3 年生)
平成 14 年	第 3 回(2,3 年生)
平成 15 年	第 4 回(2 年生)
平成 16 年	第 5 回(2 年生)
平成 17 年	第 6 回(2 年生)
平成 18 年	第 7 回(2 年生)
平成 19 年	第 8 回(2 年生)
平成 20 年	第 9 回(2 年生)
平成 21 年	第 10 回(2 年生)
平成 22 年	第 11 回(2 年生)
平成 23 年	第 12 回(2 年生)
平成 24 年	第 13 回(2 年生)
平成 25 年	第 14 回(2 年生)
平成 26 年	第 15 回(2 年生)
平成 27 年	第 16 回(2 年生)
平成 28 年	第 17 回(2 年生)
平成 29 年	第 18 回(2 年生)
平成 30 年	第 19 回(2 年生)
平成 31 年	第 20 回(2 年生)
令和 元年	第 21 回(2 年生)
令和 2 年	中止
令和 3 年	中止
令和 4 年	中止
令和 5 年	第 22 回(2,3 年生)

Ⅱ 学校経営計画

1 経営の基本的事項

高山村
教育大綱
村づくりは
教育から

令和5年度 高山村立高山中学校 グランドデザイン



校訓 明るく 賢く 逞しく

高山村
教育行政方針
明るく
かしこく
たくましく

学校教育目標

自ら学び、心豊かで、健やかな生徒の育成

めざす学校の姿

笑顔あふれ信頼される学校

めざす生徒の姿

目標に向かって生き生きと活動する生徒

めざす教師の姿

協働し高め合える教師

スローガン：笑顔あふれ あいさつ・歌声響き 花いっぱいの高山中学校

学校経営方針

- 生徒を認め、褒め、諭し、一人ひとりが成長し輝ける学校づくり
- 教職員一人ひとりの力やチームワークを生かした活力ある学校づくり
- 家庭・地域と共にある、信頼される学校づくり

重点目標・施策

生きる力の育成

確かな学力を育む

- 自ら学ぶ態度や学習規律の確立
- 主体的・対話的で深い学びの授業実践
- ねらいが明確で振り返りのある授業
- 目的・場面・状況に応じた ICT の活用
- 個に応じたきめ細かな指導の実践
- 効果的な少人数指導の実践
- 家庭学習習慣の定着

豊かな心を育む

- 自治能力を育む生徒主体の体験活動の充実
- 達成感を味わわせる感動体験の充実
- 道徳的実践力を育む道徳教育の実践
- 思いやりの心を育む花づくりの実践
- 読書活動の推進
- 職場体験やキャリア教育の充実
- 地域の教育力を活かした教育活動の推進

健やかな心身を育む

- 体力向上プランによる体づくりの実践
- 生徒が主体となった部活動の推進
- 基本的な生活習慣の確立
- 保健・健康教育の充実と感染対策の実践
- 人権教育・いじめ防止教育の実践
- チーム学校での教育相談の充実
- 特別支援教育の充実
- 安全・防災教育による危機回避能力の向上

温かい人間関係を育む学級・学校（チーム学校）

保こ小中一貫教育の推進

【12年間を見通した学びと生活】

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

【地域の声を反映した教育】

家庭教育・社会教育の充実

【PTA活動の充実】

【地域コーディネーターとの連携】

【社会教育団体との連携】

2 具体的な施策

確かな学力を育む

【確かな学力の育成】：学力向上

- ① チャイム前着席、始業時の挨拶、授業中の返事を徹底し、規律やルールを大切にすることを育てる。
- ② 特配教員やマイタウンティーチャーによる少人数やT T指導により英語・数学の基礎学力の向上を図る。
- ③ 生徒一人一人の個に応じたきめ細かな指導を行い基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。
- ④ 学習課題の量と質を教科ごとに検討し、共有を図り、一定量の課題が継続して与えられることで家庭学習の定着を図る。
- ⑤ 英検や漢検の受験を促し、1年を通して全員が受験すると共に、合格のための見通しを持った指導を行う。

【教師の指導力の向上】：校内研修

- ① 一人一授業と授業公開等の実践や教員の協働による授業づくりを通して、授業力の向上と授業改善を行う。
- ② 「ねらい」を明確にし、「振り返り」による授業を確立し、生徒の学びを保証する授業の実践を行う。
- ③ 「対話的な学び」を効果的に取り入れ、客観的に自分を見つめ直す場面を設定する。
- ④ ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学び一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。

豊かな心を育む

【豊かな人間性・社会性の育成】

- ① 学校行事、生徒会活動等による感動体験や成功体験を積み重ねることにより、達成感を味わわせる。
- ② 「明るく・賢く・逞しく生きる」をテーマとした、課題解決的学習を取り入れた総合的な学習を充実させる。
- ③ 道徳推進教員を中心として、道徳教育の推進や道徳一人一授業の実践による、道徳実践力の育成に努める。
- ④ 全校での花づくり活動を通して、生命を尊重する態度や思いやりの心を育てる。
- ⑤ 図書室や学級図書を利用した時間を充実させ、読書を通して語彙を豊かにするとともに言語感覚を養う。
- ⑥ 地域と一体となった職場体験を充実させ、計画的・系統的にキャリア教育を進める。
- ⑦ 自己の適性を知り、生き方を考え、将来の目標に向かって主体的に進路選択ができる能力・態度を育成する。
- ⑧ 地域の事業所・公共施設や自然を活かした体験活動や人材活用を通して郷土を愛する心を育成する。

健やかな心身を育む

【健やかな体の育成と健康教育の充実】

- ① 体力向上プランに積極的に取り組み、生徒の体力向上に努める。
- ② 外部指導力も活用した部活動を通して、体力や競技力の向上を図るとともに、連帯感、自律心を培う。
- ③ 健康な生活を営むために、保健指導・保健教育の充実や新しい生活様式に準じた感染対策の徹底を図る。

【健やかな心と望ましい集団の育成】

- ① 全教職員の共通理解に基づく共通実践による、一枚岩となった積極的な生徒指導を展開する。
- ② 身だしなみ・掃除・挨拶・時間を守るなど集団の一員として、気持ちよく生活できる態度を養う。
- ③ 教師と生徒、生徒と生徒の信頼関係を基盤に、けじめのある生活態度の育成や規範意識の向上を図る。
- ④ 早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣の推進と遅刻生徒への効果的な指導を行う。

【問題行動・不登校・支援を要する生徒への対応】

- ① 教育相談CNを中心として、ケース会議の推進とチームとしての対応を行う。
- ② 生徒指導主事を中心として、いじめの未然防止を組織的に取り組む。生徒会担当とも連携し、生徒主体の啓発活動や体験活動を積極的に支援するとともに学校・家庭・地域が連携していじめの未然防止と早期発見・早期解決を図る。
- ③ 教育相談CNを中心として、不登校生徒の正確な実態把握と支援方法を、組織的に行う。また、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・教育支援センター「つぼみ」とも連携してその解消に努める。
- ④ 特別支援教育CNを中心として、支援を要する生徒の特性や発達に係る問題について、共通理解を図り、適切な支援を行う。

安全・安心な学校づくりの推進

- ① 校地・校舎の安全点検の徹底と、通学路の点検及び自転車の整備点検を行い安全確保に努める。
- ② 交通安全教室や通学路での自転車の安全指導を実施し、安全な登下校の徹底を図る。
- ③ 不審者侵入や非常・自然災害など緊急事態に備え、訓練等を通して対応の改善を図る。

信頼される学校づくりの推進

- ① 教職員のキャリア段階を踏まえた自己啓発や職能成長を図り、互いに高め合う職場にする。
- ② 教職員の服務規律を遵守し、個々のワークライフバランスを健全化し、同僚性のある職場にする。
- ③ 地域の行事やボランティア要請に応え、互いに協働した取組の推進や、生徒の活動を積極的に発信する。

保・こ・小・中の連携の充実

- ① 一貫教育に向けて具体的な取組（交流授業、行事などの交流等）を模索するとともに、12年間を見通した教育課程の編成を行う。また、村内教職員研修会により教職員の連携を図る。
- ② 英語科、小・中学校兼務発令や通級指導の連携など、中学校へのスムーズな移行を図る。
- ③ 「たかやま 学びと生活のやくそく」を足がかりに、「学び」と「生活」の系統的・計画的に取り組む。

学校・家庭・地域との連携

- ① 学校だよりや諸通信の発行やメールによる配信、HPを充実させるなど、学校の様子を積極的に発信する。
- ② 学校行事や授業参観、懇談会、講演会など、多数の保護者が参加できるように日程や内容の工夫を行う。
- ③ 学校運営協議会や学校評価を活用し、学校課題の点検と改善を図り、地域と共にある学校を推進する。

Ⅲ 校内研修

研究主題 「主体的に考え、自己決定しながら学ぶ生徒の育成」

Ⅳ 教科等年間授業時数及び年間授業日数

1 教科等年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	総合	総時数
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

2 年間授業日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1・2年	16	20	22	13	4	20	21	20	16	16	19	17	204
3年	16	20	22	13	4	20	21	20	16	16	19	9	196

Ⅴ 生徒の状況

1 学級別生徒数

学年	1年	2年	3年	特 支			総計
	A組	A組	A組	B組	C組	計	
男	10	16	13	2	1	3	42
女	10	8	15	0	1	1	34
計	20	24	28	2	2	4	76

2 地区別生徒数

	原	本宿	新田	五領	判形	役原	関田	戸室	火の口	北之谷	熊野	梅沢 輝光	計
1年	1	5	3	0	3	0	4	2	0	2	0	1	21
2年	4	2	1	1	4	2	1	1	1	2	1	4	24
3年	1	2	5	3	7	3	1	0	1	1	0	4	28
B組	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
C組	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	7	9	10	4	14	5	6	3	3	5	1	9	76

Ⅵ 組 織

1 学校経営組織

校 長																															
教 頭																															
職員会議 ←																															
運営委員会 研究推進委員会 学力向上委員会				学校保健委員会 教育支援委員会 生徒指導委員会				教育相談委員会 進路指導委員会 服務規律委員会				いじめ防止対策委員会 食物アレルギー対策委員会 予算委員会																			
教務部 (高橋浩)		研究部 (高橋敬)						管理部 (島村)				事務部 (塩原)																			
学年・学級経営 表簿	学籍・教科書 日課・時間表	整美指導	給食指導	保健指導	保健主事	部活指導	特別支援教育・魅力指導	特別活動	教育相談	生徒指導	進路指導	図書指導	学力向上	情報教育	環境教育	福祉教育	道徳教育	安全教育	人権教育	学社連携・学校支援	一貫教育	校内研修	渉外	給食業務	遺失物	管理	庶務会計	学校徴収金	学校管理運営	学校予算	共同学校事務室
(山崎・高橋敬・高橋浩)	(高橋浩・島村・塩原)	(吉田)	(坂本)	(福田・片貝)	(福田)	(山崎)	(坂本・福田)	(横山・高橋敬)	(福田)	(山崎)	(高橋浩)	(横山)	(剣持好)	(剣持好)	(吉田)	(横山)	(剣持好)	(剣持好)	(島村・高橋浩・櫻井)	(高橋敬)	(坂本・塚田・石坂)	(島村)	(坂本・塚田・石坂)	(吉田)	(島村)	(塩原)	(櫻井・福田・吉田)	(塩原・島村)	(塩原)		

2 生徒会活動組織

生徒総会		
本部役員会 (横山、高橋敬)		
代表委員会・実行委員会		
委員長会議	部長会議	班長会議
委員会	部活動	班会
給食委員会 (坂本) 整美委員会 (吉田) 保健委員会 (福田・片貝) 図書委員会 (剣持友) 購買委員会 (櫻井・塩原) 体育安全委員会 (山崎・剣持好) 広報委員会 (高橋浩)	駅伝 (吉田・櫻井) 文化 (福田・剣持友) 陸上 (吉田・山崎) バスケット (横山・剣持好) バレー (櫻井・剣持好) ソフトテニス (坂本・山崎) 剣道 (高橋敬・高橋浩)	梅沢・茶屋ケ松 (片貝) 熊野 (吉田) 北之谷 (吉田) 火の口 (坂本) 戸室 (坂本) 関田 (剣持友) 役原 (剣持好) 判形 (櫻井・福田) 五領 (高橋敬) 新田 (高橋浩) 本宿 (横山) 原 (山崎)

Ⅶ 日課表

	時間	月	火	水	木	金
朝	出席確認 8:15～	出席確認	出席確認	出席確認	出席確認	出席確認
	朝活動	朝読書	集会	朝学習	朝学習	朝学習
	短学活 8:30～	短学活	短学活	短学活	短学活	短学活
1校時	8:40～9:30	1	1	1	1	1
2校時	9:40～10:30	2	2	2	2	2
3校時	10:40～11:30	3	3	3	3	3
4校時	11:40～12:30	4	4	4	4	4
給食・休憩	12:30～13:35	給食・昼休み				
5校時	13:35～14:25	5	5	5	5	5
6校時	14:35～15:25		6	6	6	6
清掃	15:25～15:40	清掃				
短学活	15:40～15:50	短学活				
ランニングタイム	16:00～16:15	ランニングタイム				
放課後	16:20～	部活動				
下校 17:00	4月～7月 8月～10月 11月～2月 3月	部活終了18:00 部活終了17:30 部活終了17:00 部活終了17:30		完全下校18:15 完全下校17:45 完全下校17:15 完全下校17:45		
勤務時間	8:15～16:45 (休憩時間45分を含む)					
休憩時間 授業日	A 12:35～13:05、 B 13:05～13:35 (30分) A 15:40～15:55、 B 15:55～16:10 (15分)					
長期休業日等	◎ 12:15～13:00					

Ⅷ 教職員

No.	職名	氏名	担任・主任等	
1	校長	石関 博之	学校経営、校務全般、PTA顧問、後援会顧問	
2	教頭	島村 博	学校運営(補佐)、PTA書記、後援会書記	
3	主幹事務長	塩原 好江	庶務会計、福利厚生、後援会会計	
4	教諭	高橋 浩人	3学年主任	教務主任、進路指導主事、英語主任、PTA会計
5	教諭	横山 絢音	3年A組担任	国語主任、道徳推進教師、図書主任、生徒会(前期)
6	教諭	福田亜由子	B組担任	2学年副担任、音楽主任、教育相談CN、保健主事
7	教諭	高橋 敬明	2学年主任	研修主任、数学主任、生徒会(後期)
8	教諭	櫻井 朱音	2年A組担任	総合主任、小中連携(英語)
9	教諭	剣持 好司	2学年副担任	理科主任、学力向上CN、情報主任、安全主任
10	教諭	剣持 友二	通級指導	2年副担任、人権主任、福祉教育
11	教諭	山崎 徹	1学年主任	生徒指導、体育主任、部活動主任
12	教諭	吉田航太郎	1年A組担任	社会科主任、環境教育、
13	教諭	坂本久美子	C組担任	1学年副担任、家庭科主任、特別支援CN、給食主任
14	養護教諭	片貝 照代		健康管理、保健指導、安全衛生推進者、スポーツ振興センター
15	非常勤講師	松本 聡	技術	
16	非常勤講師	小森 清美	美術	
17	I C T支援員	野口 賢人	I C T支援業務	
18	A L T	アグネスマツモト		
19	マイタウンティーチャー	高橋 詠子	学習支援	教育支援センター
20	マイタウンティーチャー	牛木 雅人	学習支援	少人数、T T
21	スクール・カウンセラー	濱野 雅樹		
22	スクールソーシャルワーカー	山本 霞		
23	図書相談員	本所 智子	図書館活用支援	
24	用務員	石坂 栄作	用務全般	環境整備、営繕、給食業務
25	業務支援員	塚田 知子	業務支援	

Ⅸ 予 算

(1)校費	運営事業	2,550千円	(1)校費	図書事業	746千円
	校外活動事業	364千円		保健衛生事業	506千円
	文書取扱費	1,255千円	(2)PTA	感染症対応事業	229千円
	施設管理事業	28,770千円		予算額	683千円
	武道館施設管理	137千円		内訳	会員数85人 会費(年額) 3000円
	教育振興事業	3,612千円	(3)後援会	予算額	571千円

Ⅹ 年間行事

さわやかあいさつ運動(毎月1回)

月	主な行事予定
4月	始業式、入学式、身体測定、生徒会オリエンテーション、交通安全教室、避難訓練、トーマス・ハッサール校交流 授業参観・学年懇談会・部活懇談会、吾妻郡中学校春季大会
5月	吾妻郡中学校春季大会(陸上)、高原学校(2学年)、修学旅行(3学年)、野外学習(1学年)、生徒総会
6月	校内マラソン大会、情報モラル講演会、群馬県中学校春季大会、指導主事計画訪問、期末テスト
7月	郡総体壮行会、第1回学校保健委員会、吾妻郡中学校総合体育大会、校内少年の主張大会、1学期終業式 県総体壮行会(全校登校日)、群馬県中学校総合体育大会、三者面談(3学年)、保護者面談(2年)、家庭訪問(1年)
8月	高山村中学生海外派遣事業(オーストラリア シドニー:2・3学年)、生徒会資源回収 少年の主張吾妻地区大会、2学期始業式
9月	校内体育大会、吾妻郡中学校新人大会、生徒会本部役員選挙、1年生地域学習村巡り 吾妻郡駅伝大会壮行会、吾妻郡中学校駅伝競走大会、吾妻郡英語暗唱弁論大会
10月	職場体験学習(2学年)、群馬県中学校新人大会、校内文化祭(竜星祭)
11月	授業公開日、第2回学校保健委員会、学年懇談会、進路説明会、三者面談(3学年)、期末テスト
12月	総合防災訓練、人権週間、郡生徒会情報交換会、2学期終業式
1月	3学期始業式、校内書き初め大会、スキー教室(1・2学年)、後援会本部役員会、私立高校入学試験 授業参観、キャリア講演会、PTA総会、後援会理事会
2月	公立高校入学試験、入学説明会(小学校6年対象)、期末テスト
3月	3年生を送る会、卒業式、離任式、修了式

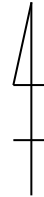
XI P T A本部役員 及び 後援会本部役員

役 職	P T A本部役員	後援会本部役員
会 長	中山 登	中澤 拓也
副 会 長	野上 秀之 中澤 拓也	野上 秀之
書 記	小池 鉄夫 島村 博(T)	小池 鉄夫 島村 博(T)
会 計	平形 忠 高橋 浩人(T)	平形 忠 塩原 好江(T)
会計監査	渡邊 裕治 星野 美菜	星野 美菜
顧 問	武田 和也 石関 博之(T)	武田 和也 石関 博之(T)

XII 校舎平面図

【3階平面図】(北校舎)

サポ ー ト	階 段	被 服 室	2 A	3F 西 多目的教室	階 段	男 便 所	女 便 所	3F 東 多目的教室	1 A
--------------	--------	-------	-----	---------------	--------	-------------	-------------	---------------	-----



【2階平面図】

相談 室 2	階 段	B 組	C 組	3 A	階 段	女 便 所	男 便 所	生 徒 会	図 書 室	
相談室										
音楽室	階 段	P C 教室	準 備 室	視 聴 覚 室	階 段	女 便 所	男 便 所	L L 教室	美術室	準 備 室

【1階平面図】

機 械 室	階 段	第 1 理科室	準 備 室	第 2 理科室	倉 庫	階 段	女 便 所	男 便 所	準 備 室	調 理 室	木 工 室	準 備 室	金 工 室
給食室													
← 体育館 部 室	中 庭	更 衣 室	書 庫	女 便 所	男 便 所	集いの広場	購 買	武 道 館 →					
正 面 玄 関	休 養	用 務 員	職 員 室	校 長 室	印 刷 更 衣 室	放 送 室	資 料 室	階 段	生 徒 玄 関	保 健 室	会 議 室		